

非接触ICカード・フィルター『フラックス・カード』機能説明 『フラックス・カード』の使用方法



『フラックス・カード』は表面(グリーン)と裏面(レッド)でふたつの機能を使い分けできます。

日常的に使用する交通系のカードにはグリーン面を、また、読まれたくない貴重なICカードにはレッド面を重ねてカードケースに入れます。



この状態だとレッド面(GUARD)がICカードに接触していますから、カードの情報は読めません。

スキミング防止にはこの状態でご使用ください。

こちらは、グリーン面(PASS)がICカードに接していますから、このICカードだけ使用できます。カードケースの中の他のカードは反応しません。

改札ではこの状態でご使用ください。

2枚の非接触 IC カードを離れた場所に収納する場合はそれぞれのカードに『フラックス・カード』が接するように重ねてください。

レッド面でスキミング防止機能をご利用の場合、このようにICカードを収納する個所が離れている場合は枚数に応じて本製品をご用意ください。

非接触ICカード・フィルタ『フラックス・カード』機能説明 『フラックス・カード』の効果



コンピューターにカード・リーダーを接続して『フラックス・カード』の効果进行测试します。
モニター画面上の横長の白い部分がリーダー・アプリケーションです。

※カード・リーダーはソニーのフェリカ用を使用しています。



リーダーに「イコカ」を乗せると利用履歴と残高が表示されます。

※「イコカ」はJR西日本発行の非接触ICカード乗車券です。



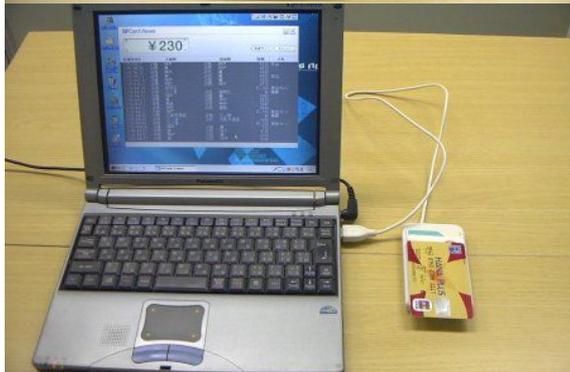
「イコカ」の上に『フラックス・カード』のレッド面 (GUARD)を重ねると履歴表示が消えます。
カードとリーダーの通信が途絶えました。

テストでは上部1cm程度ずらしていますが、完全に重ねてご使用になることをお奨めします。



次に『フラックス・カード』を裏返し、グリーン面 (PASS)を重ねると、再び履歴表示が現れます。

レッド面 (GUARD)が見えていますので反対側のグリーン面 (PASS)がICカードに接しています。



続けて、上からハナプラス「ピタパ」を重ねてもそのまま「イコカ」のデータの表示を続けています。
このように複数の非接触ICカードがあっても、間に『フラックス・カード』を挟むことにより枚数超過のエラーを回避し、改札でもスムーズに反応します。

※「ハナプラス」は阪急電鉄発行の非接触ICカードです。
※「ピタパ」はスルっと KANSAI のIC決済サービスです。